

パリ2024オリンピック男子アジア予選

開催日	2023年10月19日 (木)	会場	DUHAIL SPORT HALL		
試合	予選ラウンド				
チーム名		スコア			チーム名
日本	27	14	前半	16	26
		13	後半	10	
バーレーン					

No.	名前	得点	戦況
1	中村 匠	0	<p>パリオリンピックアジア予選の2戦目は、アジア王者として東京オリンピックにも出場したバーレーン代表と対戦。東京オリンピックではバーレーンはベスト8まで進出した。先のアジア大会では準決勝で対戦し28対30で敗戦している相手。この試合はIHFから派遣された国際審判員のドイツ人ペアが担当した。</p> <p>日本はプレーメーカーに安平、部井久と渡部がバックコート、サイドには杉岡と元木、ポストに吉田の布陣。守備はGKに中村、笠原と部井久をセンターDF、2枚目DFに渡部と吉田、1枚目DFに元木と杉岡を配置した「6-0DF」でゲームスタート。試合開始、日本は失点を喫するも杉岡が得た7 MTのチャンスを安平が冷静に決めて試合が動き出す。</p> <p>連続失点を喫する場面も見受けられるが、安平と吉田のコンビネーションからポストシュートを決めるなどしてリズムを掴もうと試みる。前半10分過ぎ5対8となった所で日本はタイムアウトを請求。タイムアウト明け、日本は高野を投入しDFを5-1DFにシステム変更。そして、GK坂井のセーブから吉野が速攻で2連続得点。その後もリバウンドを吉田がそのままねじ込み3連取。前半15分で8対8。前半25分には徳田の速攻が決まり13対12。逆転に成功する。しかし、25分過ぎから連続失点を喫してしまい14対16の2点差で前半終了。</p> <p>後半開始直後から、GK中村が好セーブを連発。7 MTのチャンスも蔦谷が確実に決めて我慢の時間を耐え凌ぐ。プレーメーカーの東江も投入し流れを日本に呼び込む。コンビネーションから渡部が得点し、上昇ムードが漂うが後半14分過ぎには部井久がこの日3回目の退場となりレッドカードを受ける。しかし、代わりに3枚目DFに入った吉田がファイトし相手の攻撃を防ぐ。その後、日本は元木のサイドシュート、渡部の速攻、元木の速攻などで後半23分過ぎには25対24の逆転に成功。残り1分で26対26の同点。バーレーンが攻撃権を保持。このピンチを日本は辛抱強く守り、残り10秒でバーレーン89番がオーバーステップの反則。レフェリーの吹笛後、89番はボールを投げる行為でレッドカード。日本に7 MTのチャンスが与えられた。これを安平が確実に決めて残り8秒。バーレーンはタイムアウトを請求。タイムアウト明け、日本はバーレーンの攻撃を冷静に防いでタイムアップ。27対26で勝利となった。</p>
2	安平 光佑	3	
7	蔦谷 大雅	3	
9	杉岡 尚樹	0	
13	吉田 守一	3	
15	部井久アダム勇樹	1	
17	坂井 幹	0	
19	徳田 新之介	3	
20	渡部 仁	4	
25	元木 博紀	5	
27	玉川 裕康	0	
31	吉野 樹	4	
33	東江 雄斗	0	
37	泉本 心	0	
44	高野 颯太	1	
74	笠原 謙哉		